

この学校関係者評価報告書は、麻生医療福祉専門学校福岡校の学校関係者評価委員会の結果を記したものである。

平成29年7月31日

校 長 竹口 伸一郎

自己点検・評価責任者

校長代行 上野 慎輔

学校関係者評価報告書

麻生医療福祉専門学校 福岡校

目 次

I. 学校関係者評価の概要と実施状況	- 1 -
1. 学校関係者評価の目的	- 1 -
2. 学校関係者評価の基本方針	- 1 -
3. 学校関係者評価委員名簿	- 1 -
4. 学校関係者評価委員会実施日時	- 1 -
5. 学校関係者評価方法	- 1 -
II. 学校関係者評価内容	- 2 -
基準 1 理念・目的	- 2 -
基準 2 教育の内容	- 3 -
基準 3 教育の実施体制	- 5 -
基準 4 教育目標の達成度と教育効果	- 6 -
基準 5 学生支援	- 7 -
基準 6 学生募集・受け入れ	- 8 -
基準 7 社会的活動	- 9 -
基準 8 管理運営・財務（学校・各部門）	- 10 -
基準 9 管理運営・財務（本部）	- 12 -
基準 10 改革・改善	- 14 -

平成28年度
(2016年度)

I. 学校関係者評価の概要と実施状況

1. 学校関係者評価の目的

- ①卒業生、関係業界、職能団体・専門分野の関係団体、高等学校、保護者・地域住民などの学校関係者が、麻生医療福祉専門学校福岡校の自己点検・評価結果を評価することで、自己評価結果の客観性・透明性を高める。
- ②学校関係者から、学校運営・教育活動の現状における課題について助言を得ることで、学校運営の継続的な改善を図る。

2. 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価は、自己点検・評価報告書を基に「専修学校における学校評価ガイドライン」に則って実施することを基本方針とする。

3. 学校関係者評価委員名簿

	氏名	所属
業界関係者	玉ノ井 敏子	(福)まごころ会 あゆみらい保育園 園長
業界関係者	渡辺 裕子	(福)宰府福祉会 すみれ園 園長
業界関係者	桑原 由美子	NPO法人 発達障がい者就労支援 ゆあしっぷ 理事長
業界関係者	江川 順一	特別養護老人ホーム 月隈愛心の丘 施設長
業界関係者	大庭 欣二	福岡福祉向上委員会 代表
業界関係者	武田 聡	NPO法人 木もれ日 カフェヒュッテ 施設長
業界関係者	潮田 大介	(有)ケンルック 事務長
業界関係者	副島 和代	そえじま内科クリニック 事務長
業界関係者	井上 将彦	(医)聖峰会 聖峰会マリン病院 事務次長
業界関係者	小西 英樹	公立学校共済組合 九州中央病院 事務部長
有識者	池田 典生	(一財)日本医療教育財団 福岡支部長
有識者	占部 尊士	西九州大学短期大学部 准教授
有識者	松尾 智子	(公社)福岡県介護福祉士会 研修委員
有識者	大山 和宏	福岡県精神保健福祉士協会 会長
高校	熊谷 智彦	久留米学園高等学校 校長
地域住民	高田 照幸	(株)たかた商会 代表取締役
保護者	中島 文香	
保護者	野上 祐子	

保護者	蒲池 桂子	
保護者	尾下 千賀子	
保護者	木下 典子	
保護者	塚本 のり子	
保護者	所崎 あすか	
卒業生	眞島 顕弥	
卒業生	宮井 浩志	
卒業生	池上 幸子	
卒業生	山下 朋子	
卒業生	田中 隼平	
卒業生	大本 栞	
卒業生	庄崎 綾乃	
卒業生	中井 志帆	

※区分別、五十音順、敬称略

4. 学校関係者評価委員会実施日時

実施日時：平成29年6月24日（土）13：00 ～ 14：00

場 所：麻生塾福岡キャンパス 4号館 5階 453教室

5. 学校関係者評価方法

平成28年度の自己点検・評価報告書に基づき、基準項目の自己評価結果および課題・解決方向について、下記のポイントに留意しながら評価を行った。

- (1) 自己評価結果の内容が適切かどうか
- (2) 今後の解決方向が適切かどうか
- (3) 学校の運営改善に向けた取り組みが適切かどうか
- (4) その他、学校の運営に関する助言

※参考 自己点検・評価における達成度の評定

- S：達成度が高い
- A：ほぼ達成している
- B：達成しているがやや不十分
- C：達成は不十分で改善を要する（不適合）

Ⅱ. 学校関係者評価内容

基準 1 理念・目的

項目総括

建学の精神・法人の理念については、今年度より麻生塾ルールブックに明文化して、教職員全員に配布され周知されています。学生に対しては、校訓として学生便覧等に記載して入学時より周知・浸透を図っています。学外に対しても、Web サイトで紹介しています。

麻生塾では、創立当初より企業や組織に求められる人材を育成することを理念として専門教育を行ってきました。この理念は麻生塾のミッションの一部として明文化して、学内に掲示等を行っており、学外には Web サイトで紹介しています。

学科の目標(育成人材像)および教育計画(カリキュラム)は文書化し、学生便覧および Web サイトで学内外に提示・公表しています。

主な課題及び改善の方向性

特にありません

■学校関係者評価結果：適 正

学校関係者評価 評価者のご意見

・特になし

中項目 1-1

建学の精神・法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育成人材像を明文化し、学校構成員で共有し、社会に公表しているか。

■学校関係者評価結果：適 合

■自己点検・評価結果：A

小項目 1-1-1

法人創設時に生まれた「建学の精神」、および根本的な考え方である「法人の理念」を明文化し、学校構成員(すべての教員、職員、学生)に周知する機会を設け、社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

「建学の精神」「法人の理念」は、教職員全員に配布されるルールブックに明文化され、学生に対しても入学時に配布す

る学生便覧にも「校訓」等として記載し、入学時より周知を図っているが、周知の方法が統一されておらず、理解の程度についての把握が不十分である。また、Web サイトや印刷物等で社会に公表している。

小項目 1-1-2

「各校の教育理念」は、教育と指導を通して学生に十分に理解され、本学校の卒業生として相応しい資質として周知させているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

学校の教育目標、教育方針、校訓については、学生に配布される学生便覧に明文化し、入学時より指導を行なっている。また、各学科における学生指導指針に沿った教育の中でも浸透化を図り、さらにグローバルシチズンベーシック教育の下、社会に貢献する人材となり得るべく指導を行なっている。

小項目 1-1-3

「各校の教育理念」には、職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容などを盛り込んでおり、定期的に見直しを図っているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

教育方針には、職業教育機関として必要な考え方や指針、内容などを盛り込んでおり、中間期に行なわれる、学校全体のカリキュラム研修時に見直しを行なっている。

小項目 1-1-4

各学科の教育目的や育成人材像は、「法人の理念」および「各校の教育理念」から導き出されたものになっているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

各学科の教育目的や育成人材像は、法人の理念と各校の教育方針から展開したのになっており、学生便覧の各学科学習指導指針に明示している。また、本年度からは 8 月に学校全体でのカリキュラム研修を行い、各学科の方針についての検討を行なっている。

小項目 1-1-5

各学科の教育目的、教育計画(カリキュラムマップなど)を文書化し、学校構成員に提示・共有しているか。また各学科の教育目的は社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

学科別の教育目的は、学生に対しては学生便覧の各学科学習指導指針に提示して、学生への周知を図っており、加えて教員は、カリキュラム研修会において、その内容を検討し理解している。文書化したものに関しては、Web サイト、パンフレットなどで公表している。

小項目 1-1-6

各学科の教育目的を実現するための人的資源、物的資源、財務資源等は適切に確保されているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

人的資源として、教員は専任教員・非常勤講師を含めて、資格要件に則って教育を行っており、それぞれの分野に必要とされる知識・技術を有している。また、必要な設備、教材については、適正な教育が行なわれるために、必要に応じて整備・購入している。

=====

基準 2 教育の内容

=====

項目総括

学校および学科の教育方針は、法人の理念から展開され、カリキュラムやシラバスへ反映されていますが、文部科学省・厚生労働省の指定規則によって教員の要件が定められている学科に関しては、非常勤講師によってシラバス等の精度に個人差があります。また、非常勤講師を含めてのシラバスの共有化が不十分な部分があります。

主な課題及び改善の方向性

常勤教員・非常勤講師を含めて、教育内容の共有化を図る必要があります。また、授業改善については、授業アンケートのフィードバックから、改善計画に沿った改善の実施、振り返りを行ない、それらを記録として蓄積しています。入学後の学生支援については、具体的な検討を重ねており、平成 29 年度より実施の予定です。なお、リメディアル教育については、法人全体で検討を継続していきます。

■学校関係者評価結果：適 正

学校関係者評価 評価者のご意見

- ・基礎学力試験の結果を踏まえての、学生に対する対応・指導(英進館講座)は良い取り組みだと思います。
- ・上記の取り組みによって、他科目の勉強にも良い影響があることを期待しています。次年度での報告が楽しみです。
- ・シラバスの共有化や e-ラーニングの整備等、オンラインの「教学システム」についてご検討ください。

中項目 2-1

各学科の教育目的、育成人材像に向けたカリキュラムの作成等の取り組みをしているか。

■学校関係者評価結果：適 合

■自己点検・評価結果： A

小項目 2-1-1

学科の育成人材像およびカリキュラムは、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けて作成し、社会に公表しているか

■自己点検・評価結果： S

■コメント

年に2回開催されている教育課程編成委員会での意見および就職グループとの連携において、業界の人材ニーズを把握し、それに向けた学科の育成人材像およびカリキュラムを検討・作成し、社会に公表している。

小項目 2-1-2

育成人材像に向けた修業年限分のカリキュラムおよびシラバス・コマシラバスを作成しているか。また、シラバスは事前に学生に配布しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

育成人材像に向けたカリキュラム一覧を作成し共有している。また、学生に対してはシラバスを開講時に配布し、説明している。コマシラバスの作成はできているが、特に非常勤講師によって、精度に個人差がみられる。

小項目 2-1-3

カリキュラムの作成に際し、複数の内部職員および業界関係者などの外部関係者を入れて、高校生の現状、社会ニーズを反映させるために、意見を取り入れているか

■自己点検・評価結果： S

■コメント

教育課程編成委員会を設置し、年2回の会議を開催している。カリキュラム会議は、広報・就職担当者の意見と教育課程編成委員会での意見を元に開催している。また、高校への広報活動時に教員も同行し、実習施設への実習巡回時に業界情報を入手するなど、常に顧客ニーズを反映できる体制がある。また、それらの意見もカリキュラム作成に反映させている。

小項目 2-1-4

教科ごとのシラバスおよびコマシラバスを取りまとめて、教科間の整合性を図り、定期的に検証・見直しているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

専任教員の担当科目に関しては、カリキュラム会議において検証・見直しを行なっている。また、シラバス・コマシラバスが共有フォルダで管理されているため、共有可能となっており、教科間の整合性も確認できる状態になっている。但し、非常勤講師に関しては、システム上共有化しづらい状態であり、検証および見直しについても、提出時の確認を行なっている状況である。

中項目 2-2

教授学習プロセスの改善および教員の資質の維持や向上への取り組みをしているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果：A

小項目 2-2-5

学生による授業評価を定期的に行ない、評価結果をもとに授業観察や研修等の改善活動を計画的に行ない、それらを文書で確認できるか

■自己点検・評価結果：A

■コメント

計画に基づき、授業ミニアンケート、担任教員・授業アンケートを年2回実施している。アンケート実施後は、結果を踏まえて校長代行および副主任による個別面談を実施し、その内容を報告書・改善計画書に記載している。新任教員およびアンケート結果の下位者については、計画に則って主任または副主任とリーダーによる授業見学を実施し、改善を図っている。

小項目 2-2-6

学生による授業評価以外で、授業改善のための組織的取り組みを行なっているか。(授業改善委員会等、名称問わず)

■自己点検・評価結果：B

■コメント

改善が必要な教員に関しては、責任者会議で共有し、授業見学等の改善を計画的に実施している。日常的にも、副主任およびリーダー等からのアドバイスを OJT で行なってはいるが、効果の検証や見直しを組織的に行なうまでには至っていない。

小項目 2-2-7

教員の専門性や指導力等の把握や評価、維持、向上のために、計画的に内部・外部の研修や自己啓発の支援を行ない、検証・評価を行なっているか

■自己点検・評価結果：A

■コメント

法人から発信される研修については、目的に応じて年間計画を作成し、部門内の人材育成計画に基づいた研修が計画的に実施している。専門分野に関する研修については、部門長の判断に基づき、時期や人員を考慮して、自己啓発支援をしている。

中項目 2-3

業界ニーズに対応した付加的教育の取り組みをしているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果：A

小項目 2-3-8

企業・施設等での職場実習(インターンシップ含む)を行なっているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

各学科で定められた分野において、現場実習を実施し、実社会に必要な応用力やコミュニケーション力、協調性・責任感等の育成を目指している。

小項目 2-3-9

キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

GCB をはじめ、各実習における実習指導や就職実務など、キャリア教育に関する内容をカリキュラムに組み込んでいく。また、それらには、各学科におけるそれぞれの業界に必要な内容を組み込んでおり、社会的・職業的自立を促す教育を行なっている。

小項目 2-3-10

リメディアル(導入前教育、補習)教育を行なっているか。

■自己点検・評価結果：B

■コメント

入学予定者に対しては、事前課題を与えている学科もある。入学後は、必要時に補講を適宜実施している。しかし、個々人の学力や学習習慣の格差が大きく、基礎学力に特化した教育については、具体的かつ有効的な方策について検討中である。

基準 3 教育の実施体制

項目総括

教員の採用基準に関しては、文部科学省・厚生労働省関連の学科については、指定規則を採用の基準を最優先とし、加えて教育方針に沿った人材育成を実現できる資質を備えた基準を設けています。指定規則での基準がない教職員については、人事グループにおいて、一定の基準があります。また、学内外の実習時の安全に対する指導は、実習指導にて行ない、誓約書や覚書等で確認していますが、「安全管理規程」として明文化したものではありません。

主な課題及び改善の方向性

他校(グループ校)の規程等を参考にして、本校における「安全規程」の作成をすすめていきます。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

・「安全管理規程」として明文化したものの作成をお願いします。

中項目 3-1

教育の実施体制を整備しているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果：A

小項目 3-1-1

学科編成・教育課程に相応しい教員組織を整備しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

厚生労働省関連の分野に関しては、指定規則に則って専任教員を配置し、過重な負担とならないよう、兼任とのバランスも考慮している。しかし、それぞれの分野において要件があるため、教員の年齢構成等については十分な考慮ができていない。

小項目 3-1-2

非常勤講師と適切な協業および情報交換を図っているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

年に 1～2回の非常勤講師会を定期的に行なっている。また、授業実施報告書による報告や、授業の内容や学生の状況等、非常勤講師とクラス担任とで適時情報交換を行なっている。

中項目 3-2

教育環境を整備・活用しているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果：A

小項目 3-2-3

実習で使用する学校設備、机・イス等の教育備品・教具等を整備し、管理体制を備えているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

学校設備や教育備品、実習用の教具を把握し管理し、担当者によって年度に1回点検している。

小項目 3-2-4

学内外実習時の安全対策を文書化し、十分な対策を取っているか。

■自己点検・評価結果：C

■コメント

学内外の実習時の安全に対する指導は、実習指導にて行ない、誓約書や覚書等で確認しているが、「安全管理規程」として明文化していない。

小項目 3-2-5

防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)を整備・点検しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント 年間点検計画を立て、専門業者へ依頼し、その報告書を受領し、確認している。

小項目 3-2-6

学生が就職に関する情報を収集したり、専門職員が就職支援を行う指定された場所があり、活用しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

就職支援を行なうための資料を備えたキャリアサポートセンターがあり、就職指導担当者が常駐している。学生も、日常的に活用できている。

小項目 3-2-7

図書室・図書コーナーがあり、教員や学生が利用できる関連図書等を備えて活用しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

厚生労働省によって指定されている学科については、法令通りに書籍をそろえた総合図書館があり、その他の分野に関しても、専門分野に特化した書籍が配置されている。担当者によって管理されており、学生が利用できる環境が整っている。

=====

基準 4 教育目標の達成度と教育効果

=====

項目総括

教科の評価・成績、国家試験および資格・検定の合格率・合格者数に関して、目標の設定・共有、達成への取り組みと、結果の報告・評価、改善への取り組みは行なっていますが、取り組みに関する効果の検証は、学科や教科によって不十分な点があります。

主な課題及び改善の方向性

結果を踏まえた上での、検証から改善に向けた取り組みを、引き続き計画的に行なっていきます。また、試験結果の分析に関しては、系責任者を中心とした系内での分析結果を責任者会議で情報共有を行い、自部門以外からの観点で分析結果を評価します。

■学校関係者評価結果：適 正

学校関係者評価 評価者のご意見

・特になし

中項目 4-1

各学科の教育目的、育成人材像に向けて、その達成への取り組みと評価をしているか

■学校関係者評価結果：適 合

■自己点検・評価結果： A

=====

小項目 4-1-1

教科の評価・成績に関して目標を設定し共有しているか。また適切な評価を行ない、結果について記録し、検証・報告したか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

授業準備および教材研究は、各教科担当が行なっている。資格取得のための教科については目標設定を行なっている。各教科においても教科の評価・成績に関しての具体的な目標設定を行い、期末試験については、結果を学科会議等での報告とともに、次年度に向けての取り組みに活かしている。成績表等は麻生塾システムのデータベースに記録している。また毎期末に所定の書式で記録を残し、校長代行及び主任・副主任により点検、確認を行なっている。記録については所定の書棚で管理をし、個人情報に留意している。

小項目 4-1-2

学科目標の国家試験および公務員試験の合格率・合格者数等の目標を設定・共有し、結果を検証し改善等しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

国家試験については、平成 29 年度末の介護福祉士国家試験に向けて、従来の卒業時共通試験の結果について、合格者数の目標を設定し、事業報告書に記載している。また、それらを教職員で共有した上で学科会議にて協議をし、教育活動を行なっている。

小項目 4-1-3

資格・検定・コンペに関して目標を設定・共有し、結果について検証・報告・公表したか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

資格、検定に関する目標を実施回ごとに設定し、事業計画書に記載して、キックオフ会議にて明示している。それらは進捗状況とともに全教職員で共有している。結果については、検定結果報告書で随時報告し、パンフレット、Web サイト等で公表している。

小項目 4-1-4

学生の就職に関して目標を設定し共有しているか。また就職活動を記録して、それをもとに結果の検証・報告・公表したか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

学生の内定目標および就職スケジュールを設定し、就職グループの担当職員、学科内の教員とで共有している。内定目標については、事業報告書に記載している。また、学生の就職活動に関する記録は、必要時教職員で共有し指導に活用している。就職試験の結果に関しては、検証・報告を定期的実施し、次年度の就職指導に役立てている。就職実績は、パンフレットや Web サイト等で公表している。

小項目 4-1-5

卒業率のアップに関して目標を設定・共有し、退学を防止する活動に関して検証し、退学者数を公表しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

卒業率アップにつながることから、各学科・系にて退学率に関する目標設定を行なって、事業計画書に記載している。教務会議にて卒業率向上の意義を教職員が理解し、共有している。退学に関する検証はクラス運営報告書・ガイダンス報告書を元に随時行い、MM 会議にて報告している。また、その内容を教職員で共有し、事後の指導に役立てている。退学者数は Web サイトで毎年公表している。

=====

基準 5 学生支援

=====

項目総括

担任制の下、学生・保護者・学校の連携を図りながら、個々の学生の状況に沿った支援を行なっています。また、今年度からは特別な支援が必要であると考えられる学生に対して、外部の専門家による相談・支援を試みて、効果を生むことができたので、今後も継続していきます。

また、卒業生に対する「社会福祉士受験対策講座」を計画・実施しましたが、初年度の合格については、満足のいく結果を出すことができませんでした。

主な課題及び改善の方向性

在校生については、現在の支援を続けていきます。また、卒業生に対する試験対策を見直し、計画・実施を継続します。

■学校関係者評価結果： 適 正

学校関係者評価 評価者のご意見

- ・社会福祉士の国家試験対策も支援されているのは、充実した支援を行なわれていると考えます。
- ・社会福祉士および精神保健福祉士に関しては、国家資格取得率の実績を作っていないと、今後の就職活動にも影響があるかと思えます。卒業して2年目・3年目で資格を取れていない方が、対策講座を利用できるように案内等をするよいのではないかと感じました。また、在学中にも資格取得に向けた意欲の向上を図っていただければと思います。卒業生の立場から、資格取得に向けた勉強の仕方など、手伝える部分はしていけたらとも思っているため、今後の取り組み等の検討をお願いします。
- ・引き続き、卒業後のサポートをお願いします。
- ・診療情報管理士科を卒業した人たちが情報交換ができるような場があればいいと思います。在校生との交流もあれば、試験対策等も教えられるのではと思っています。
- ・卒後教育、学びなおしのシステムについてもご検討ください。

中項目 5-1

学生支援を整備し、支援を組織的に行なっているか。

■学校関係者評価結果： 適 合

■自己点検・評価結果： S

小項目 5-1-1

教員による学生の面談を定期的に行ない、適切な支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

担任は、年度や学期の開始後等、定期的および必要に応じて随時面談を行い、面談内容を時系列に文書化したガイダンス報告書を作成して副主任をはじめ、責任者が閲覧・確認して、指導に活用できる状況にしている。

小項目 5-1-2

保護者と計画的な相談会・面談を行なっており、説明責任を果たしているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

就職に関する保護者会、三者面談を実施し、学校の情報と学生の情報に関して情報を共有して、保護者の理解や信頼関係構築を図っている。

小項目 5-1-3

キャリアサポート関連の有資格者(キャリアカウンセラー等)を配置し、学生の就職指導を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

有資格者による適切な進路相談指導を行なっている。有資格者は福岡キャンパスに在籍しており対応できている。

小項目 5-1-4

スクールカウンセラーを配置し、教員以外に相談できる体制を整えているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

教職員間において、担任以外にもクラスや学科を超えて相談できる環境を目指しており、学生相談室を設置して、希望者には臨床心理士によるカウンセリングも行なっている。また、平成 28 年度も一部の学生に対して、外部の専門家による相談・支援を継続している。

小項目 5-1-5

ハラスメントに関する相談窓口を設置し、学生に周知し、有効に活用しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

法人内にはハラスメント委員会が設置されており、教職員・学生に対して、ハラスメント防止に関するガイドラインを明示している。学生が受けたハラスメントについても、教職員と同様に対応可能であり、研修を受けた教職員が対応しているが、専門的な領域では、臨床心理士との連携も図っている。

小項目 5-1-6

奨学金制度等の経済的支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

経済的理由による修学支援として授業料免除制度を整備している。日本学生支援機構の奨学金手続きを中心に、都道府県、市町村、各種団体等の奨学金について学生への案内、手続き支援をおこなっている。

小項目 5-1-7

留学生、社会人学生、障がい者等を受け入れて、支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

国際交流センターを設置し、留学生の修学支援や就職支援を専門的に行なっている。社会人学生に関しては一部の学科を対象に、職業訓練制度や教育訓練給付金制度が活用できる。障がい者については、学科の特色を鑑みて、可能な限り受け入れを行なっている。また就職支援に関しては、就職グループが中心となり個別に支援している。

小項目 5-1-8

課外活動に対する支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

教職員が部活動顧問として課外活動支援を行い、年間の予算を管理、報告を行なっている。

中項目 5-2

卒業生等に対する支援を行なっているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： A

小項目 5-2-9

卒業生の就業先へ定期的な訪問をし、1年後の就業状況を把握しているか。また、卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動に活用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 卒業生の就職先に対し、就業1年、2年、3年経過後の在籍状況のアンケートを実施している。

小項目 5-2-10

卒業生に対して職業紹介や講習・研修を行なう体制があり周知され、効果を上げているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント Webサイトに卒業生に向けた校友会のページを設け、再就職斡旋・キャリアアップ講座の申込みがインターネット上からできるように整備している。

小項目 5-2-11

学校情報を卒業生、保護者、高等学校等、企業等に Web サイト等を通じて知らせているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 最新の情報を適正に発信、随時更新している。

=====

基準 6 学生募集・受け入れ

=====

項目総括

学生募集に際しては、学校案内等にアドミッションポリシーを明示し、入学志願者にとって必要な事項についても、全て記載しています。また、募集活動・入学者の選抜に際しても、教務と各支援グループの連携によって、適正に管理・実施されています。

主な課題及び改善の方向性

特にありません

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

・特になし

=====

中項目 6-1

学生募集活動を適正に行ない、入学選考を公正かつ適切に実施しているか

■学校関係者評価結果：適 合

■自己点検・評価結果：S

小項目 6-1-1

学生の受け入れ方針(アドミッションポリシー)を文書化し、入学希望者に求める資質、意欲、適性等を明示しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

パンフレット、募集要項、Web サイトにてアドミッションポリシーを明示すると共に、オープンキャンパスにおいて説明している。また入学予定者に対して、入学説明会を実施する中で説明している。

小項目 6-1-2

高等学校を定期的に訪問し、高校生の進路ニーズを把握し、学生募集活動に反映させているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント 高等学校を定期訪問するための専門職を置き、ニーズの把握、募集活動への反映に努めている。

小項目 6-1-3

学生募集活動において、就職実績、国家試験結果、卒業生の活躍等の教育成果を、正確に伝えているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

情報は、パンフレット、Web サイトで正確に公表している。学生の資格取得、就職情報については定期的に更新を行っている。

小項目 6-1-4

学校案内等には育成人材像、目指す国家資格・就職先、修得できる知識及び技術等を明示しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

募集要項、パンフレットなどに育成する学生像を記載している。またオープンキャンパスにおいても各学科にて詳しく説明している。

小項目 6-1-5

募集要項には学費・教材費等をわかりやすく明示し、金額は妥当なものになっているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

募集要項、Web サイトなどに明示している。教職員はその内容を周知しており、学費・教材等に関する内容を説明することができる。

小項目 6-1-6

募集要項には入学者の選抜方法を明示し、入学者選考を公正かつ適切に実施し、毎年検証を行なっているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

選考方法は募集要項で明示している。入学者選考は公正かつ適切に実施しており、実施方法や選考基準については、定期的に検証している。

小項目 6-1-7

適切な募集定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

学科ごとの入学定員については、定期的に検討しており、収容定員に基づいた在籍学生数を適正に管理している。

=====

基準 7 社会的活動

=====

項目総括

社会的活動については、行政をはじめ各学科の人材育成に関連した業界団体、教育機関等との連携を図って、計画的に行なわれています。

地域貢献を目的とした無料公開講座については、地域の小学校に対して、福祉に対する理解を促す取り組みやお仕事スタジアムを開催しています。

主な課題及び改善の方向性

学校独自で開催する地域での無料公開講座等について継続的に検討します。

■学校関係者評価結果：適 正

学校関係者評価 評価者のご意見

・強みを活かしたソーシャルアクションを期待しています。中長期的な地域支援を計画的に実行して欲しいと考えます。
・今後も社会的活動の継続をお願いするとともに、無料公開講座の検討もお願いします。

中項目 7-1

計画的・組織的に社会的活動への取り組みを推進しているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果：S

小項目 7-1-1

学生に対し、計画に基づく社会的活動(地域活動、地域貢献、ボランティア活動等)を推進し実施しているか。(制度上の問題がなければ単位認定)

■自己点検・評価結果：S

■コメント

福岡キャンパス内に設置しているボランティア推進委員会を中心とした活動と、本校へ社会福祉施設や地域から直接依頼があるイベント等のボランティア募集に対し、学生の自主的なボランティア活動を推進している。単位に関しては、制度上問題がない場合には認定している。

小項目 7-1-2

学校として地域貢献を目的とした公開講座などを実施しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

地域貢献を目的とした無料公開講座については、地域の小学校に対して、福祉に対する理解を促す取り組みやお仕事スタジアムを開催している。

小項目 7-1-3

企業・地域・行政等の組織と連携を図り、地域社会に貢献しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

博多区内の老人福祉センターでの健康相談をはじめ、同センターや地域の小学校でのレクリエーション実施を行なっている。また、社会福祉協議会との連携により、イベントの企画・運営に参画している。

基準 8 管理運営・財務(学校・各部門)

項目総括

学校の管理・運営に関しては、経営推進本部によって整備が進められている各規程に則って、連携のうえ行なわれています。火災についての防火・非難訓練の周知徹底はなされていますが、地震等の自然災害に対しては、マニュアル化されてはいるものの、非常勤講師を含めた教職員間での周知に差があります。研修計画については、事務職員に対する年間計画を作成していませんでした。

主な課題及び改善の方向性

教職員全体での防災・防犯に対する危機意識を高め、学生を含めた防災訓練について、実施時期の検討を引き続き行ないます。また、事務職員に対する研修の年間計画を作成します。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

- ・「C」評価の項目(事務職員に対する研修の計画及び実施)についての改善に取り組んでいただきたい。
- ・以前、事務職員への対応については、余りよい印象を受けなかった。資質の向上が必要であると思います。

中項目 8-1

学校の管理・運営体制を確立して、規程通りに運営しているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果：A

小項目 8-1-1

運営会議(教務会議・部門会議等)を定期的に行い、進捗・課題・成果を共有しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

校運営責任者を含めた学校運営に関わる会議(教務会議、責任者会議、系会議、学科会議)を定期的に行い、議事録を作成し時系列に保管、共有している。

小項目 8-1-2

組織の職務分掌を文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント 福岡キャンパスでの校務分掌および各校、各部署において職務分掌を文書化して運用している。

小項目 8-1-3

防災・防犯対策、非常時対策を文書化し組織化しているか。また、避難訓練等を定期的実施しているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

リスクマネジメント規程および危機管理体制のガイドラインとして文書化し、麻生塾ルールブックにも記載している。また、年1回避難訓練を行っており、訓練を実施するにあたって、教職員の役割分担の周知を図っている。設備に関しては、保守点検業者を通じて定期的に整備点検が実施され、報告を受けている。今後は、自然災害を含めた防災訓練の実施および時期に関する検討が引き続き必要である。

小項目 8-1-4

個人情報保護規程を教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

個人情報保護規程を文書化して閲覧可能な状態となっている。教職員は全員内容を周知しており、規程に基づく行動を心がけている。

小項目 8-1-5

ハラスメントに関する規程を学校構成員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

ハラスメント防止規程を文書化し、ハラスメント防止のガイドラインも定められている。法人内においてハラスメント委員会を組織し、麻生塾ルールブックにも記載している。ハラスメント相談員に対する研修は年2回実施され、担当委員が出席している。

小項目 8-1-6

事務職員の意欲・資質の向上を図るために、研修計画を作成し、実施しているか。

■自己点検・評価結果： C

■コメント 事務職員に対する研修の年間計画が作成されておらず、実施がされていない。

中項目 8-2

学校の財務体質は健全であり、財務運営は適切に行なっているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： A

小項目 8-2-7

年度予算および中期計画を策定しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

中長期計画に基づいた年度予算案を作成し、理事会にて承認を得ている。決定した事業計画は年度初めのキックオフ会議にて全職員と共有している。

小項目 8-2-8

予算は計画に従って妥当に執行し定期的に確認しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

校長代行が月次予算作成・予算執行を行っており、毎月の実績確認と管理・改善を行なっている。

小項目 8-2-9

固定資産を適切に管理・運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

固定資産管理規程を文書化し、規程に従って適切に管理・運用している。

小項目 8-2-10

図書(固定資産)を適切に管理・運用しているか。(該当校)

■自己点検・評価結果： S

■コメント

図書管理規程を文書化しており、総合図書館において、学校図書を管理、運営している。

=====
基準 9 管理運営・財務（本部）
 =====

項目総括

管理・運営体制の充実、改善活動の推進、諸規程の整備などを通して、教育環境の向上を図り、教育の質を高める活動を展開している。今年度は福岡キャンパスで新校舎新設、総合図書館における図書貸出の取り組みなど、学生サービスの拡充に取り組んだ。

財務面では財務体質の健全性の確保、会計監査体制の見直し、情報公開などを推進している。

また、2016年4月の熊本地震を受けて、リスクマネジメント、建物・設備の点検、非常時の対応策などについて見直しの徹底を図っている。

主な課題及び改善の方向性

学校の特性などにより募集活動に差が出てきている。これを受けて中長期的な観点からの経営計画の見直し、および学校教育制度の変化を考慮した運営体制の見直しが必要である。短期的には各種の規程の整備や制度の充実、および情報の公開性を高める方策が喫緊の課題である。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

・ 特になし

=====
中項目 9-1

管理・運営体制を確立して、規程通りに運営しているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果：A

小項目 9-1-1

運営会議(常任理事会、MM 会議、共有会議等)を定期的に行い、進捗・課題・成果を共有しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

常任理事会、MM 会議、共有会議を開催し、進捗の報告、課題・成果の共有を行なっている。

小項目 9-1-2

決裁規程を文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

稟議規程を作成し運用している。組織変更にあわせた変更が必要。

小項目 9-1-3

人事関連規程を文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。(人事考課制度、昇進・昇格制度)

■自己点検・評価結果：B

■コメント

人事考課制度、昇進昇格制度ともに策定できているが、昇進昇格制度の周知徹底に関しては更なる改善が必要。

小項目 9-1-4

賃金制度を文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果：B

■コメント

文書化し、適切に運用できているが、開示が不十分。

小項目 9-1-5

教育目的を達成するために、適切な採用制度を設けて文書化し、運用しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

採用規程を改定し、運用を行っている。

小項目 9-1-6

学生による授業評価活動を計画・実施し、改善を推進しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

授業アンケートを年 2 回実施し、結果の報告書を作成している。しかしながら、改善活動の実施について、学校間に差があり、解消していく必要がある。

中項目 9-2

法人の財務体質は健全であり、財務運営は適切に行なっているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果：A

小項目 9-2-7

教育活動を安定して遂行するために、必要かつ十分な財政的基盤を確立しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

収支も予算どおりに推移しており、財政的基盤に重要な問題はない。

小項目 9-2-8

予算編成及び予算執行を適切に行ない管理しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

月次ごとに予算状況を把握しており、大きな差異について、その都度問題を把握している。

小項目 9-2-9

会計監査(内部・外部)体制のルールを明確化にし、結果報告を文書等にて明示しているか。

■自己点検・評価結果：B

■コメント

今年度より個人の監査人から、監査法人へ契約変更。今後は監査法人と密に連携していく。

小項目 9-2-10

私立学校法における財務情報公開の体制を整備し、公開しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

「学校の方針」に基づき、必要な事項を適切に開示している。

中項目 9-3

教育環境を整備・管理し適切に運営しているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果：A

小項目 9-3-11

空調、防災設備等の学校設備を定期的に管理・点検しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

年間点検計画を立て、専門業者へ依頼し、その報告書を受領し、確認している。

小項目 9-3-12

建物の長期改修計画を策定し、計画的に改修しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント 長期修繕計画にもとづき建物の管理を行なっている。

小項目 9-3-13

固定資産管理規程を文書化し、教職員に周知し、固定資産を適切に管理しているか。

■自己点検・評価結果：B

■コメント 文書化はしているが、部分的にしか周知はしていない。

小項目 9-3-14

防災・防犯対策、非常時対策を文書化し、学校構成員に周知徹底しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

地震・火災・不審者対応マニュアル、緊急時対応フローを作成し組織化し、必要に応じて追加見直しを行なっている。

小項目 9-3-15

個人情報保護規程を文書化し、学校構成員に周知しているか。また、日常的に啓発活動を行なっているか。

■自己点検・評価結果: B

■コメント

desknet's、ルールブックにて周知、研修を行なう予定だが、日常的な啓発活動が不足している。

小項目 9-3-16

ハラスメントに関する規程を文書化し、学校構成員に周知しているか。また、防止のための啓発活動を行なっているか。

■自己点検・評価結果: S

■コメント

ハラスメント防止規程、防止ガイドラインを作成し、desknet's、ルールブック、研修等にて周知、啓発している。

小項目 9-3-17

図書(固定資産)管理規程を文書化し、図書を適切に管理しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

図書管理規程および運用規程のもと、専任職員による管理運用を行っている。

図書貸出しにむけた管理・運用規程を整備していく。

基準 10 改革・改善

項目総括

委員会組織としての活動は、年間計画をはじめ内部監査の実施、定期的な委員会活動等を行なっています。しかし学校内での活動は、責任者が委員として活動して、意義・重要性についての発信はしていますが、教職員によって理解の差があると思われ、改善・改革に向けて十分に機能していません。

主な課題及び改善の方向性

自己点検・評価についての教職員の意識を向上させ、結果の検証と改善に向けて、学校全体で取り組むためのしくみ作りを引き続き行います。

■学校関係者評価結果:適 正

学校関係者評価 評価者のご意見

・特になし

中項目 10-1

自己点検・評価活動の実施体制を確立して、改革・改善のためのシステムが稼働しているか

■学校関係者評価結果:適 合

■自己点検・評価結果: A

小項目 10-1-1

自己点検・評価を適正に実施運用するための規程を整備し、実施し、改善のための年間計画を作成しているか。

■自己点検・評価結果: S

■コメント

自己点検・評価規程に基づき、委員会にて作成された年間計画を参考にして、責任者からなる委員会活動として行なっている。

小項目 10-1-2

自己点検・評価の必要性を全教職員に伝え、評価活動及び評価結果を全教職員で共有する機会を設けたか。

■自己点検・評価結果: B

■コメント

自己点検・評価委員を中心とした活動を行っているが、その意義や重要性に関しては、教職員によって理解の差があると思われる。評価結果を全教職員で共有する機会を設けるまでは至っていない。

小項目 10-1-3

自己点検・評価を実施し、その結果に基づいて、改善計画を作成・実施し、結果の検証をしているか。

■自己点検・評価結果: C

■コメント

定期的に自己点検・評価を行なっている。その結果に基づいて、改善計画を作成しているが、改善すべき点については計画の段階で、実行・検証までに至っていない。

小項目 10-1-4

自己点検・評価活動に関する内部監査を組織的に行ない、改善活動に役立っているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

内部監査に関する計画書・報告書を作成し、チームで内部監査を行なっている。内部監査員の養成研修に参加し、自己点検・評価活動の理解を深め、改善活動の意義について共有を図っている。

小項目 10-1-5

自己点検・評価報告書を文書化し、学校の Web サイトで公開しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

委員会により評価結果を文書化している。自己点検・評価の結果を公表できる体制を整えて公表している。

「自己点検・評価」全体に関する学校関係者評価 評価者のご意見

・検討事項として、報告書については前年度との比較を含めて記載し、何ができていないから「S」でないのか、または、目標と取り組み⇒達成度⇒課題(できていること・できていないこと・やるべきこと・対策と方法)などを、明確かつ簡潔に記入してほしい。